



201

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年3月10日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

不条理に立ち向かう福島県漁連会長

10日(日)=1、3面

迫る



東日本大震災から間もなく13年を迎えます。大津波に襲われた東北沿岸部では2万2000人を超える命が奪われ、東京電力福島第1原発事故では、多くの人が突然、古里を追われました。あの日から年月を重ねましたが、震災の爪痕は今も残っています。

福島県いわき市の小名浜漁港もその一つ。津波被害

から立ち上がろうとしていた漁業関係者は、原発の処理水海洋放出という問題にぶち当たりました。政府や東電との間で折衝に当たったのは、県漁業協同組合連合会の会長を務める野崎哲さん＝写真。処理水によって漁をやめる人だけは出さない、と誓って行動してきました。

水産会社の社長でもある

野崎さんには、忘れられない震災前の出来事があります。2008年6月、カツオ漁に出ていた会社所属の巻き網漁船が転覆し、17人が犠牲になる事故。国が示した事故原因は納得できる内容ではありませんでした。

漁船事故と原発事故という二つの不条理に立ち向かってきた野崎さんの人生に迫ります。

論点

センバツ100年 高校野球のこれから

13日(水)=オピニオン面

選抜高校野球大会が18日に開幕します。大会は今春で創設100年を迎えます。少子化、部活動改革、ジェンダー、けが予防、体罰などさまざまな課題と向きあいながら、

ファンを魅了し続ける大会を目指します。

女性指導者である京都・洛南高野球部監督の山村真那さん、高校野球のリーグ戦を運営するNPO法人「BBフュー

チャー」理事長の阪長友仁さん、学童野球チーム「練馬アークス・ジュニア・ベースボールクラブ」代表の中桐悟さんの話から、高校野球のこれからを考えます。



日経平均株価を表示する電光掲示板



特集 ワイド あの人が語る政治とカネ

11日(月)=夕刊2面

裏金事件で自民党は揺れ続けています。国会で政治倫理審査会＝写真＝が開かれたものの、岸田文雄首相ら出席者が明確に説明責任を果たしたとはいえないでしょう。

そんな中、かつて「政

治とカネ」の問題で刑事処分を受けたあの人が政界復帰を模索している、と聞こえてきました。

裏金事件をどう見るのか、元同党衆院議員を訪ねて直撃取材しました。



東証最高値を更新

10日(日) 総合面

東京株式市場で日経平均株価が約34年ぶりに史上最高値を更新しました。バブル崩壊以降、日本経済は長く停滞し「失われた30年」と呼ばれてきました。しかし今、再び世界から日本企

業の株式が注目されています。市場関係者は「バブルとは違う」という声が聞こえますが、どういった背景で株価が上がってきたのか、わかりやすく解説します。

竹橋の窓辺から

編集後記

先日、バレーボール「Vリーグ」の試合会場に伺いました。日曜朝刊の「迫る」に東京グレートベアーズが掲載された日です。会場は約3000人のファンが観戦に訪れ、物販コーナーで本紙を次々と購入されていました。毎日新聞では連載やメルマガ、ポッドキャストなどを通してバレーも「推し」ています。「バレー」といえば毎日新聞」と想起いただけるような接点づくりを、今後も進めていきたいと思えます。(立花健一)

毎日新聞